



2026年4月14日

各 位

会 社 名 株式会社サトー
代 表 者 代表取締役 社長執行役員 グループ CEO
小沼 宏行
(コード番号 6287 東証プライム市場)
U R L <https://www.sato.co.jp>
問い合わせ先 上席執行役員 グループ CFO 益子 統
電 話 番 号 03(6628)2423

特別損失の計上及び業績予想の修正、並びに役員報酬の減額に関するお知らせ

当社は、2026年3月期第4四半期連結会計期間（2026年1月1日～2026年3月31日）において、下記のとおり特別損失を計上し、それに伴い2025年11月12日に公表した2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）の連結業績予想を修正いたしました。また、役員報酬の減額を決定しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の内容

当社は、2021年3月期より、業務プロセスの改善および一部老朽化システムの刷新を行うため、現行基幹システムに代わる新基幹システムの開発を進めておりました。

2024年3月期には、当社が当初計画していた機能の一部について実現困難であると判断し、基幹システム、サプライ生産、保守サービスに対象を限定した段階的システムリプレイスに方針を変更しました。

このうち、基幹システムとサプライ生産については、段階的リプレイスの計画どおりに開発が進捗しております。一方で、当該方針に基づき開発を継続していた保守サービスのシステム開発において、以下のとおり重大な課題が新たに判明いたしました。

- (1) システムパッケージに起因した固有処理
- (2) 開発品質の不具合に伴う計画比の進捗遅延

これらの事象を踏まえ、社内検証に加えて外部専門家の意見も参照した結果、現行計画を継続することは合理的ではないと判断し、当該システム開発に係る固定資産（ソフトウェア仮勘定）の当初想定どおり利用ができない資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理を行い、2026年3月期第4四半期連結会計期間において減損損失（特別損失）を計上することとなりました。対象には、外部委託費、社内人件費および関連ライセンス費用等が含まれます。連結決算への影響額は以下のとおりです。

連結決算への影響

固定資産の減損損失約13億円を特別損失に計上する予定です。

2. 業績予想の修正

① 2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）の連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	161,000	11,000	10,100	6,800	209.46
今回修正予想 (B)	161,000	11,000	10,100	5,800	178.66
増減額 (B-A)	0	0	0	△1,000	△30.80
増減率 (%)	0	0	0	△14.7	△14.7
(ご参考) 前期連結実績 (2025年3月期)	154,807	12,341	11,144	7,151	220.39

② 業績予想修正の理由

親会社株主に帰属する当期純利益は上記特別損失の影響により5,800百万円となる見込みであります。

3. 配当予想について

期末配当予想につきましては、今回の業績修正に伴う変更はなく、前回発表予想（期末：1株当たり38円）から変更はございません。

4. 役員報酬の減額について

一般の特別損失の計上及びこれに伴う通期連結業績予想の修正の内容を真摯に受け止め、経営責任を明確にするため、以下の通り役員報酬の減額を実施いたします。

① 役員報酬の減額内容

代表取締役 社長執行役員 グループCEO 月額報酬の 20%
取締役 上席執行役員 副社長 月額報酬の 20%

② 対象期間

2026年4月より6月までの3ヵ月間

(注) 業績予想につきましては、現時点で当社が入手可能な情報に基づいており、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

以上